

裏面白紙

爵

立案明治九年十一月一日

決裁明治九年十一月一日

爵位局長

勤務

爵位局長

勤務

大臣

内事部長

内事部長

次官

次官

関東都督府法院判官行五任勲五等
平石氏人下六十名勲位一併

官内省

六

74



關東都督府法院判官從五位勲五等平石
氏人外百六十名敘位ノ件
右謹テ奏ス

明治三十九年十一月一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望呈

内

閣

明治卅九年十月 日

内閣書記官

内閣總理大臣 望

内閣書記官長 也

關東都督府法院判官從五位勲五等平石氏人
外百六十名敘位進階内則第二條に依り敘
位ノ件

從五位勲五等 平石氏人
敘正五位

正六位勲四等功五級中村好照

左

中村省三郎

左 醫學博士

宮入慶之助

左

赤星典太

左 勲五等

有川貞壽

左

醫學博士

古在由直

敘從五位

從六位勲五等

松下正昭

左

波多野常三郎

左

德江重隆

左	勲四等	植田	欽哉
左		長崎	常
左	勲五等	田代	安定
左		梅木	正衛
左		山崎	延吉
左		竿田	秀静
左	勲五等	千石	學
左		河添	潮
左		日比	忠彦
左		石丸	文雄
		内	関
左	從六位勲六等農學博士	長岡	宗好
左		和田	萬吉
左		長倉	純一郎
左		伊木	常誠
左		三山	喜三郎
叙正六位			
正七位勲五等		鈴木	次郎
左	勲六等	新井	松四郎
左	勲五等望級	平山	治久
左		宮地	八郎

左	左	左	左	左	左	左	左	左	左
吉川祐輔	岡田十蔵	福山亀太郎	千本傳三郎	森忠三郎	稲村篤太	西田又二	高山正雄	安藤季雄	根岸福彌

醫學博士

祐
八
雄

醫學博士

根岸福彌

安藤季雄

高山正雄

西田又二

稲村篤太

森忠三郎

千本停三郎

福山亀太郎

岡田十蔵

吉川祐輔

祐ハ雄ノ誤

正七位

島岡亮太郎

左

溝淵孝雄

左

西和田久學

左

勲六等

別府丑太郎

左

林 彈作

左

荒牧竹吉

左

沼田尚徳

左

勲六等

布目四郎吉

左

石川 疏

左

井手佐三郎

敘從六位

左

三好一八
土屋信民

從七位

久本為藏

從七位勲六等

萩欽三

左

寺田救一

左

尾形龜壽

左

橋本卯兵衛

左勲七等

左正武

左

津村直次

内閣

從七位

塩原鈞

左

山本小源太

左

加護谷祐太郎

左

飯島篤雄

左

本純信

左

中島玉吉

左

小日向定次郎

左

小林郁

左

渡邊俊雄

左

江口照造

佐川	岡田	大賀	野崎	小澤	林	加藤	工東	見田	宇宿	野崎	中川	河合	岡田	大和	蛸子	松岡	黒澤	磯	林田
榮次郎	章	疆二	新太郎	秀一	嘉雄	榮	三郎	勇吉	行正	泰一郎	健蔵	鑛次郎	榮	三樹太郎	康	廣之	明九郎	秀太郎	虎雄
左	左	左	左	左	左	左	左	左	左	從七位	左	左	左	左	勲六等				

上田恭輔

敘正七位

正八位

弘内豊足

須佐廣主

佐藤壽一郎

古川仲右衛門

谷口俊治郎

高棕榮吉

最所文二

小山龍作

内閣

正八位

山下倉太郎

中目敬治

加藤重福

細川賢一

佐藤佐吉

佐々磐多

浦井鏘次

小原爲

坂田清勝

御酒本三之助

左

勲七等

井上伍鹿	小幡三郎	嘉儀金一郎	安藤福三郎	阪本陶一	住田正雄	竹村勘悉	福島操	浅野市次郎	富田勝三郎	内閣	伊藤三郎	小倉亨	福井薰	石川真三	池田勝藏	福田幹次郎	嶺村素輔	川崎庫之助	岡俊雄	水木常信
------	------	-------	-------	------	------	------	-----	-------	-------	----	------	-----	-----	------	------	-------	------	-------	-----	------

83

敘從七位

敘正八位

勲七等

井上伊次

山口龍之助

松田一雄

村上唯吉

矢野太郎

村上庸吉

大熊廣筠

早乙女忠國

田中剛輔

吉田豊次郎

内閣

深尾忠

桑野禮治

木下真三郎

松井勘治

別紙關東都督府法院判官平石氏人外五名
叙位ノ件上奏書進達ス
明治三十九年十月十九日

外務大臣子爵林 董

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

外務省

85

正五位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官三等	從五位勲五等平石氏人
從六位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官五等	正七位 三好一八
從六位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官五等	正七位 土屋信民
從六位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官五等	正七位 溝淵孝雄
正七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官六等	從七位 岡田 榮
正七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府法院判官 高寺官六等	從七位 大和田三樹太郎

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ
通位一級進ノラレ度謹テ奏ス

明治三十九年十月十日

關東都督府

關東都督男爵大島義昌



九〇

別江關東都督府翻譯官上田恭輔外
七名叙位、件上奏書進達ス
明治三十九年十月十九日

外務大臣子爵林 董



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

外務省

正七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府翻譯官	高寺官六等	上田恭輔
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府翻譯官	高寺官七等	矢野太郎
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府警視	高寺官七等	村上庸吉
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府警視	高寺官七等	大熊廣筠
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府技師	高寺官七等	早乙女忠國
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府警視	高寺官七等	田中劉輔
從七位	明治三十九年九月一日 任關東都督府通信事務官補	高寺官七等	吉田豐次郎
正八位	明治三十九年九月一日 任關東都督府通信事務官補	高寺官八等	松井勘治

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ

通敘位セラレ度謹テ奏ス
明治三十九年十月十日

關東都督男爵大島義昌



機密送第九五

關東都督府通信事務官補最所文二、敘
位、件

右、上奏書進達ス

明治三十九年十月二十日

外務大臣子爵林 有造



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

外務省

29

從七位

明治三十九年九月一日
任關東都督府通信事務官補
高等官七等

最所文二

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通
叙位セラレ度謹テ奏ス

明治三十九年十月廿五日

關東都督男爵大島義昌



關東都督府

裏面白紙

内務省 甲第六三五號

別紙有川貞壽
上奏書進達ス

明治三十九年十月一日

敬 位

ノ件

内務大臣 原

敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

81

禮

從五位滿年以上繼本縣事務官五位勲等 有川貞壽
右多年奉職勤勞不尠者付敘位進階内則
第三條依ノ頭書ノ通位一級進ノ度謹テ奏ス
明治三十九年十月一日

内務大臣

原 敬



内務省

裏面白紙

13

内務省
別紙 奏書 進達
上 奏書 進達
明治三十九年十月五日
外六名 叙位進階
ノ件

内務大臣 原 敬
内閣總理大臣 侯爵 西園寺公望 殿

内務省

正七位	九月四日	大阪府警視	後七位勲六等	萩欽三
正七位	九月四日	岐阜縣可兒郡長	後七位	寺田救一
正七位	九月四日	岩手縣膽澤郡長	後七位	尾形龜壽
後七位	九月四日	大阪府警視	正八位	弘内豊足
後七位	九月四日	和歌山縣警視	正八位	須佐廣主
後七位	九月四日	福岡縣警視	正八位	佐藤壽一郎
後七位	九月四日	福岡縣技師	正八位	古川仲右衛門

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通
位一級進ノ度謹テ奏ス

内務省

明治三十九年十月五日

内務大臣 原 敬



裏面白紙

内務大臣
奏書
第八二號

別紙臺灣總督府技師長崎常外一名叙位ノ件
上奏書進達又

明治廿九年十月十一日

内務大臣 原 敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

95

正六位

明治三十九年九月六日

任臺灣總督府技師 (四等官)

從六位
長崎 常

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通敘位セ

ラレ度謹テ奏ス

明治三十九年十月六日

臺灣總督子爵佐久間左馬太



臺灣總督府

正六位

三十四年七月十日
叙従六位

五年以上

臺灣總督府技師田代安定

然六位叙入事

右多年奉職勤勞不尠者ニ付叙位進階内則第二
條ニ依リ頭書ノ通位一級進ノラレ度謹テ奏ス
明治三十九年十月一日

臺灣總督子爵佐久間左馬太



臺灣總督府

めくれず

裏面白紙

内務大臣
甲第六少四號

別紙源馳外七名
上奏書進達ス

明治三十九年十月十一日

敘位進階
ノ件

内務大臣 原 敬



内閣總理大臣候爵西園寺公望殿

内務省

內務省

明治三十九年十月十一日

內務大臣

原敬



裏面白紙

別紙梅木正衛外五名叙位進階ノ件
上奏書進達ス

明治三十九年十月十一日

内務大臣 原 敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

100

正六位	九月十一日	新潟縣技師	後六位	梅木正衛
正六位	九月十一日	愛知縣技師	後六位	山崎延吉
正七位	九月十一日	愛知縣技師	後七位	塩原 鈞
從七位	九月十一日	新潟縣東蒲原郡長	正六位	小山龍作
從七位	九月十一日	愛知縣技師	正六位	山下倉太郎
從七位	九月十一日	青森縣技師	正六位	中目敬治
從七位	九月十一日	右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位		
一級進ノル度謹テ奏ス				

明治三十九年十月十一日

内務大臣 原 敬

内務省



内務省第六十六号

別紙 深尾 忠 敏 位 〆 件

上奏書進達不
明治廿九年十月十一日

内務大臣 原 敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

裏面白紙

102

45

六位

九月四日
叙高等官八等

香川縣小豆郡長

深尾

忠

右叙位進階内則第二條依り頭書通叙

位

セラレ

度謹テ奏ス

明治三十九年十月十一日

内務大臣 原

敬



内務省

内務大臣
臣 原 第 六 六 一 号

別紙 竿田秀静外六名叙位進階ノ件
上奏書進達ス

明治三十九年十月十五日

内務大臣 原 敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

裏面白紙

104

正六位	九月十五日 任高等官四等	鳥取縣技師後六位	竿田秀靜
從六位	九月十五日 任高等官五等	鳥取縣東伯郡長正七位勳六等	内海 淡
正七位	九月十五日 任高等官六等	埼玉縣技師後七位	山本小源太
正七位	九月十五日 任高等官六等	奈良縣技師後七位	加護谷祐太郎
正七位	九月十五日 任高等官六等	山梨縣北都留郡長後七位	飯島篤雄
正七位	九月十五日 任高等官六等	長野縣南佐久郡長後七位	本山純信
從七位	九月十五日 任高等官七等	兵庫縣技師正八位	加藤重福
右敘位進階内則第二條依り頭書通位一級			
進ノレ度謹テ奏ス			

内務省

明治三十九年十月十五日

内務大臣 原 敬



内務大臣 第六百四十四号

別紙 石川 疏 外 四名 敘位 ノ 件

上 奏書 進達ス
明治廿九年十月十八日

内務大臣 原

敬



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内務省

裏面白紙

後六位 九月十八日 陸高寺官七等

神奈川縣三浦郡長正七位勲六等 石川 疏

後六位 九月十八日 陸高寺官七等

岐阜縣事務官正七位 井手佐三郎

正七位 九月十八日 陸高寺官七等

北海道廳事務官正七位 中川健藏

正七位 九月十八日 陸高寺官七等

宮崎縣技師正七位 河合鑛次郎

後七位 九月十八日 陸高寺官七等

枋木縣技師正八位 井上伍蔵

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書通位一級
進ムレ度謹テ奏ス

明治三十九年十月十八日

内務大臣 原 敬

内務



裏面白紙

大藏省

一 高寺ノ官 叙任上奏

大々執奏 以計 有々々々
同治三十一年十月六日

大藏省法學博士 阪谷芳郎

内閣総理大臣 侯爵 西園寺公望 殿

大藏省

108

煙草專賣局事務官補小幡三郎
釀造試験所技師嘉儀金一郎
釀造試験所技師安藤福三郎
右官等相當ノ位階ニ叙セラレ度謹テ
上奏ス

明治三十九年十月六日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎



大藏省

裏面白紙

初叙

從七位

三十九年八月二日
任官(高等官七等)

煙草專賣局事務官補

小幡 三郎

令

三十九年八月廿八日
任官(高等官七等)

醸造試験所技師

嘉儀 金一郎

令

令

令

安藤 福三郎

大藏省

別紙陸軍歩兵中佐中村好照以下十四名現位ニ叙セラレ
以來五年以上在職勤勞不尠者ニ付文武官叙位
進階内則第二條ニ依リ各位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十九年十月十一日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍

裏面白紙

111

裏面白紙

別紙陸軍歩兵少佐徳江重隆以下六名現位ニ叙
官叙位以來五年以上在職勤勞不尠候ニ付文武
官叙位進階内則第二條ニ依リ各位一級進
メラレ度
謹ニ奏ス

明治三十九年十月二日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍

裏面白紙

同	同	同	從六位	同	正六位
同	同	同	敘正七位 明治廿四年九月三十日	同	敘從六位 明治廿三年三月廿五日
同	同	同	同	同	五年
陸軍監獄長正七位勲五等	同	同	同	同	陸軍歩兵少佐從六位勲五等
林 惟吉	同	同	同	同	德江重隆
	同	同	同	同	植田欽哉
	同	同	同	同	愛野峰太郎
	同	同	同	同	吉田八太郎
	同	同	同	同	藤田耕一

陸軍

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一五四六號上奏 一件
右執奏有之度候也

明治三十九年十月三日

司法大臣松田正久



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

115

高等官進位之儀ニ付上奏

正六位

明治三十九年九月十四日

典獄從六位勲五等

千石

正六位

明治三十九年九月十四日

判事從六位勲五等

河添

右文官

明治三十九年九月十四日

敘位進階内則第ニ條ニ依リ

潮

謹テ奏ス

明治三十九年十月三日

司法大臣 松田正久



司法省

官入慶之助外二十二名敘位ノ件
右 上奏書及進達候也

明治三十九年九月廿七日

文部大臣牧野伸顯



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

文部省

京都帝國大學福岡醫科大學教授

敘從五位

正六位醫學博士宮入慶之助

明治三十九年八月四日陞敘 高等官三等

京都帝國大學理工科大學教授

敘正六位

從六位 日比忠彦

明治三十九年八月十七日任 高等官四等

盛岡高等農林學校教授

敘正六位

從六位 石丸文雄

明治三十九年八月二十二日陞敘 高等官四等

文部省

京都帝國大學法科大學教授

敘從六位

正七位 戸田海市

明治三十九年八月三日任 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位 藤村 作

明治三十九年八月四日陞敘 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位 西 晋一郎

明治三十九年八月四日陞敘 高等官五等

廣島高等師範學校教授

敘從六位

正七位重田 定一

明治三十九年八月四日陞敘 高等官五等

茨城縣女子師範學校長

敘從六位

正七位 本田 嘉種

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

北海道師範學校長

敘從六位

正七位 星 菊太

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

廣島縣師範學校長

敘從六位

正七位 根岸 福彌

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

文 部 省

富山縣師範學校長

敘從六位

正七位 安藤 季雄

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

京都帝國大學福岡醫科大學教授

醫學博士

敘從六位

正七位 高山 正雄

明治三十九年八月二十四日任 高等官五等

京都帝國大學法科大學教授

敘正七位

從七位 中島 玉吉

明治三十九年八月三日任 高等官六等

敘從六位

正七位重田定一

明治三十九年八月四日陞敘 高等官五等

茨城縣女子師範學校長

敘從六位

正七位本田嘉種

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

北海道師範學校長

敘從六位

正七位星 菊太

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

廣島縣師範學校長

敘從六位

正七位根岸福彌

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

文部省

富山縣師範學校長

敘從六位

正七位安藤季雄

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官五等

京都帝國大學福岡醫科大學教授

敘從六位

正七位高山正雄

明治三十九年八月二十四日任 高等官五等

京都帝國大學法科大學教授

敘正七位

從七位中島玉吉

明治三十九年八月三日任 高等官六等

廣島高等師範學校教授

敘正七位

從七位小日向定次郎

明治三十九年八月四日陞敘 高等官六等

廣島高等師範學校教授

敘正七位

從七位小林 郁

明治三十九年八月四日陞敘 高等官六等

京都帝國大學理工科大學助教授

敘正七位

從七位渡邊俊雄

明治三十九年八月七日陞敘 高等官六等

新潟縣新潟師範學校長

敘正七位

從七位江口照造

明治三十九年八月十一日陞敘 高等官六等

東京帝國大學理工科大學助教授

敘正七位

從七位佐川榮次郎

明治三十九年八月二十一日任 高等官六等

山口高等商業學校教授

敘從七位

阪本陶一

明治三十九年八月十五日任 高等官七等

京都帝國大學福岡醫科大學助教授

敘從七位

住田正雄

明治三十九年八月十七日任 高等官七等

東京帝國大學工科大学助教授

敘從七位

竹村勘悉

明治三十九年八月二十一日任 高等官七等

第五高等学校教授

敘正八位

桑野禮治

明治三十九年八月三日任 高等官八等

第五高等学校教授

敘正八位

木下真三郎

明治三十九年八月三日任 高等官八等

文部省

右謹テ奏ス

明治三十九年九月二十七日

文部大臣牧野伸顯



東京帝國大學農科大學教授

敘正六位

從六位勲六等農學博士長岡宗好

明治三十四年八月三十一日從六位ニ敘セラレタル以來在職五年以上

東京帝國大學文科大學助教授

敘正六位

從六位和田萬吉

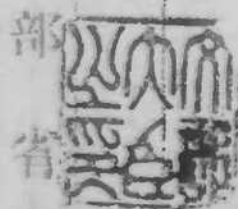
明治三十四年八月三十一日從六位ニ敘セラレタル以來在職五年以上

右謹テ奏ス

明治三十九年十月二日

文部大臣牧野伸顯

文



部省

東京帝國大學農科大學教授從六位勳六等農學博士長岡宗好

福島縣士族

慶應三年七月十四日生

年	號	月	日	任	免	賞	罰	資	格	在職年數	通	算
明治	三十四年	八月	三十一日	東京帝國大學農科大學教授								
同	三十九年	十月	二日	從六位								
文部省 明治三十四年八月三十一日 同三十九年十月二日 從六位 東京帝國大學農科大學教授												
資格 農學博士 勳六等 從六位												
在職年數 明治三十四年八月三十一日 同三十九年十月二日												
通算 明治三十四年八月三十一日 同三十九年十月二日												

東京府平民

慶應元年八月十八日生

124

農商務書記官赤星典太外二十六名叙位ノ
件別紙上奏書進達ス

明治三十九年九月二十八日

農商務大臣松岡康毅



内閣総理大臣侯爵西園寺公望殿

農商務省

農商務書記官正六位赤星典太

叙従五位

明治三十九年七月三日
陞叙高等官三等

山林技師従六位長倉純一郎

農商務技師従六位伊木常誠

工業試験所技師従六位三山喜三郎

叙正六位

明治三十九年七月三日
陞叙高等官四等

山林技師正七位西田又二

鑛山監督署技師正七位稻村篤太

山林技師正七位森忠三郎

農商務省

山林技師正七位千本傳三郎

鑛山監督署事務官正七位福山亀太郎

鑛山監督署事務官正七位岡田十藏

製鐵所事務官正七位吉川祐輔

製鐵所事務官正七位島岡亮太郎

農商務技師正七位金原信泰

鑛山監督署技師兼農商務技師製鐵所技師正七位西和田久學

農商務書記官正七位敷六等別府丑太郎

蠶業講習所技師正七位林驒作

製鐵所技師正七位荒牧竹吉

豊後府外嶋五十村 荒井十吉
 豊後府外嶋五十村 林 豊
 豊後府外嶋五十村 大等 田 入 豊
 豊後府外嶋五十村 西味田 入 豊

豊後府外嶋五十村 金 豊
 豊後府外嶋五十村 島 豊
 豊後府外嶋五十村 吉川 豊
 豊後府外嶋五十村 岡田 十 豊
 豊後府外嶋五十村 山 島 大 豊
 山林外嶋五十村 千本 豊

山林外嶋五十村 森 虫三 豊
 豊後府外嶋五十村 林 豊
 山林外嶋五十村 西田 又二

除五六
明治三十九年三月三日

工業局外嶋六十村 三山 喜三 豊
 豊後府外嶋六十村 木 常 豊
 山林外嶋六十村 身 食 一 豊

除五五
明治三十九年三月三日

豊後府外嶋五十村 赤星 典太

盤龍山外相五子林
興

魏山連晉里外鄉黨商賈好相與隨所好而五西味田入學

梁繼祖事錄言五子外島國英本順

[illegible]

山林姑曠五子詩本數三項

龔山通督署外囑五子外餘休薰木

入高部音四卷
三十九年三月三日

景商錄卷六

入道後三十一
三十一

孫正立
同治三十八年三月三日

祐雄誤

製鐵所技師正七位沼田尚徳
製鐵所技師正七位布目四郎吉

叙従六位明治三十九年七月三日
陞叙高等官五等

林務官従七位岡田章
林務官従七位大賀彊二
山林事務官従七位野崎新太郎
山林技師従七位小澤秀一
製鐵所技師従七位林嘉雄
製鐵所技師従七位加藤榮

叙正七位明治三十九年七月三日
陞叙高等官六等

農商務省

山林技師正八位細川賢一
山林技師正八位佐藤佐吉
山林技師正八位佐々磐多
山林技師正八位浦井鐸次

叙従七位明治三十九年七月三日
陞叙高等官七等

右謹々奏ス

明治三十九年九月二十八日

農商務大臣松岡康毅



附第二〇二號

農事試験場技師正六位農學博士古任由直位
階陞敍ノ件別紙上奏書進達ス

明治三十九年十月八日

農商務大臣松岡康毅



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

農商務省

正六位農學博士 右在由直

農事試験場技師

明治三十九年九月七日陞敘高等官三等

敘從五位
右謹テ奏ス

明治三十九年十月八日

農商務大臣松岡康毅



農商務省

二四

特許局審査官從七位久本為藏位階進級ノ
件別紙上奏書進達ス

明治三十九年十月廿二日

農商務大臣松岡康毅



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

農商務省

從七位 久本為藏

敘正七位

右謹テ奏ス

明治三十九年九月二十一日
任特許局審査官 叙高等官大等

明治三十九年十月廿二日

農商務大臣松岡康毅



農商務省

四九四三

別紙蛸子康始三名敘位ノ件

上奏書進達ス

明治廿九年十月一日

逋信大臣山縣伊三郎



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

正七位任通信技師 叙高等官六等 勲六等 蛸子 康
從七位任通信技師 叙高等官七等 福島 操
從七位任鐵道事務官補 叙高等官七等 勲七等 淺野市次郎

右謹
奏

明治廿九年十月一日

逋信大臣山縣伊三郎



官報發第 五〇六九 補

別紙工東三郎進位、件

上奏書進達ス

明治廿九年十月九日



通信大臣山縣伊三郎

内閣総理大臣侯爵西園寺公望殿

正七位

世年十月
叙從七位

世九年九月三日
隆叙高寺官六等

鐵道技師從七位工東三郎

右謹

テ奏ス

明治廿九年十月九日

逋信大臣山縣伊三郎



一七五四

松岡廣之外二十四名叙位ノ件別紙上奏書進達ス

明治三十九年十月二日

統監侯爵伊藤博文



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

統監府

明
任
統
監
府
鎮
道
管
理
局
事
務
官
敘
高
等
官
六
等

任統監府鐵道管理局技師全

全全全

任統藍府錢通管理向事務官叙高第官七

任統監府鐵道管理局技師合

二

全	全	全
二		上

上

全

明
三十九年八月三十一日
任
統監府鐵道管理局通譯官
敘高等官七等

任統監府鐵管道理向技師欽高等官六等

	△	△	△
			上
上			

上

任統監府錢道管司通譯官今上

任紀監府鐵達管理局聖務官補叙高寺一七寺

上

上

上

任總盡廚錢邊管理司拔郎教高寺官七等

正八位御酒本三之助

めくれず

138

從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	從七位
全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上
岡	水	井	山	松	村
俊雄	常信	伊次	龍之助	田一雄	上唯吉

右謹う奏ス

明治三十九年十月二日

統監侯爵伊藤博文



統監府

位託正、上冊九年、土日、三
農商務大臣秘書長入宛送付

別紙辭令書御送付

有之、此處右同、人、左

川雄輔、有之、上

奏、降、吉川祐輔、ト

誤記、此、月、作、御、教

御書、標、お、主、度、付、西

特、及、御、成、款、も、や

十月十二日

農商務大臣秘書長

内閣書記官

有之^ル處^ニ右^ノ同^ノ人^ハ老
川^ノ雄^ノ輔^ノ有^ニ之^ヲ上

奏^テ降^ル去^リ川^ノ祐^ノ輔^ノト

詔^シ詔^シ乃^ハ乃^ハ御^ノ教

御^ノ書^ヲ撫^ルお^ハ玉^ニ度^ニ付^テ西

特^ニ及^テ御^ノ成^ノ款^ヲ也

十^ノ月^ノ十^ニ日

東^ノ園^ノ務^ノ大^ノ臣^ノ祿^ノ書^ノ官

内^ノ園^ノ書^ノ記^ノ官
法^ノ中